

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	かるみあのhana		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 20日		～ 2025年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 8日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動やおやつの際など見通しをもって行動できます。 また切り替えの場面での行動力が強みだと思っております。	事業所内で連携を図れるように、指示を数人で行うことはせず、基本的にT1が指示を出すようにしております。 次の活動や準備等に入る際には、意図的にタイマーを使用せずに、時計を見るという習慣を身につけています。 ※「短針で〇〇になったら〇〇してね」など	お子様1人1人がホワイトボードを見る習慣を身につけ、その日の予定を把握できるように見える化をしております。 新規利用者などの場合は、慣れるまで声掛けを都度行っております。
2	スタッフ間での役割分担がしっかりできているため、円滑かつ目的や目標の為に合理的に進めることができている。	・日々必要なコミュニケーションを図っております。 ・事業所内で実施するカンファレンスで所属する従業員(社員・パートさん)全員で、ささいな事でも共有・報告を実施しております。 ・誰でも見れる連絡ノートを作成し、小さなことでも連絡ノートで共有できるようにしております。	どんなに小さなことでも報連相の徹底を実施しております。
3	お子様や保護者様の意見を吸い上げ、必要に応じて意見を取り入れるようにしております。 また、保護者様との定期的な交流会や日々の連絡などで、信頼関係を築くようにしております。	・活動などを通してお子様の意見を聞き、保護者とは電話や連絡帳でのやり取りをこまめに行っております。 また親子参加型の交流会等を開き、意見交換の場を設けております。	保護者様のご意見をモニタリング時や電話、連絡帳で聞き入れ可能な限り実践し取り組んでおります。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎などがあり、時間帯によっては手薄になってしまう時間があることが課題だと実感しております。	時間帯によっての人員不足が課題となります。	採用を強化し、人員の確保を実施し、送迎の調整を行います。
2	子ども同士のコミュニケーションは充実しているが、時と場合によっては、言葉遣いが悪くなってしまう点が改善点だと考えます。	現時点で、間違ったコミュニケーションの取り方を学んでしまっている面が見受けられるため、日々の生活や活動の中で、適正な言葉遣いを学んでもらえるように致します。	集団や個別にてSSTを行っています。 また、言葉遣いが悪かった際は、「何がいけなかったのか」・「どんな言葉掛けだといいいのか」をしっかりと納得・理解してもらえるまで教えていきます。 その他、必要な玩具や知育の補充を行っています。
3			